

## 北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	幽門側胃切除後の残胃拡張リスク因子についての単施設後方視的研究 (B23-033)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部上部消化管外科学 教授 比企 直樹
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・ 背景・目的	胃切除後には、蠕動不全などの機能的障害により残胃拡張(残胃に食物が停滞することにより胃が張ってしまうこと)をきたすことがあり、当院では腹部単純レントゲン検査により残胃拡張を客観的に評価し、安全な診療に役立てております。残胃拡張のリスク因子を術前から把握することは、より安全できめ細やかな食事管理・栄養サポートを行う上で重要と考えられることから、過去に胃癌に対して幽門側胃切除を施行された患者さんのデータをもとに残胃拡張のリスク因子を明らかにしたいと考えています。
調査データ 該当期間	2022年3月1日から2024年4月30日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	2022年4月1日から2024年3月31日までに胃癌で当院に入院され、幽門側胃切除術を施行された方
研究の方法 (使用する試料等)	2022年3月1日から2024年4月30日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、発生しません。 研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 所属・職位:北里大学病院栄養部 係長 担当者:佐藤 由美 (サトウユミ) 電話:042-778-8107
備考	